

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

バルジュヴォン行政郡バルジュヴォン地区ヒロブ村第11学校校舎建設計画供与式報告

平成28年10月14日、「バルジュヴォン行政郡バルジュヴォン地区ヒロブ村第11学校校舎建設計画」の供与式がバルジュヴォン行政郡で行われました。

本計画対象となったバルジュヴォン行政郡バルジュヴォン地区ヒロブ村第11学校は、村唯一の学校で、隣村のトゥプナホ村からも生徒を受け入れていました。同校には1～10年生までの児童・生徒が約140名在籍しており、午前・午後の交代制で授業を受けていました。しかし、校舎が小さく11年生が学ぶスペースがなかったため、11年生は村から10km離れた郡中心部に位置する学校まで通わなければならず、特に女子生徒を中心に進学を断念する生徒もいました。

今般本計画により、教室5室、校長室、職員室および図書室で構成される新校舎が建設されたことにより、1年生から11年生までの児童・生徒164名が、全員安全に通学・学習できる環境が整いました。

供与式には、バルジュヴォン行政郡から行政郡長、副教育局長、バルジュヴォン地区長が参席したほか、第11学校関係者や保護者、児童・生徒らが大勢参席し、日本の支援に対して大きな感謝が述べられました。

新校舎の外観。供与式では、新校舎の前に並んだ児童・生徒たちが歓迎と感謝のスピーチを述べました。



テープカットを行った後、授業の視察を行いました。児童たちはより快適になった環境で、一所懸命に学んでいました。

新校舎建設に大喜びの児童・生徒達はタジキスタンの伝統的な踊りを披露してくれました。

